

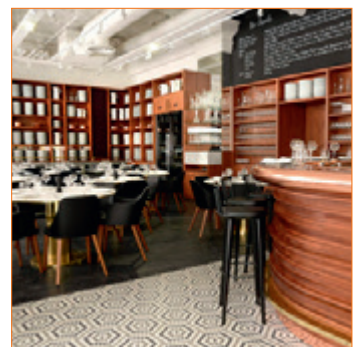
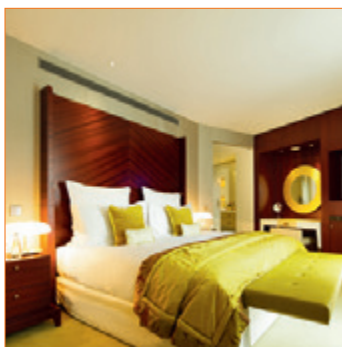


設がオープンしています。2013年秋に際オープンしたモード博物館(ガリエラ宮) musée de la mode Gallieraをはじめ、映画関連施設のジェローム・セドゥー財団—パテFondation Jérôme Seydoux-Pathéや現代アートを紹介するルイ・ヴィトン財団Fondation Louis-Vuittonが、ブローニュの森・順化園Jardin d'acclimatation近くにオープン予定、また国立ピカソ美術館musées nationaux Picasso やギュスターヴ・モロー美術館Gustave Moreauの再開も待たれる2014年。芸術ファンには、たまらない年になりそうです！家族連れや動物愛好家のみなさまは、この春再オープン予定のパリの動物園Zoo de Parisへ是非どうぞ！

パリには数多くの多様なイベントホールがあり、プロ向けイベント業者からも高く評価されています。パリは押しも押されぬビジネストリップの中心地で、展示会、会議だけでなく企業のイベントも数多く行われており、各界のプロフェッショナルたちが1600万人も訪れているのです。

パリは人を引きつける街です。パリはそのライフスタイルを日々新しく塗り替えています。ホテル業界では、全体の収容客数、バラエティーに富んだ施設の数とも増え続けています。パリの評価を高めている超高級ホテルが次々に進出。シャングリ・ラShangri-La、マンダリン・オリエンタルMandarin Oriental、ブッダバーホテルBuddha-bar hotel やペニンシュラPeninsulaといった、外国、とりわけアジア系の大きなホテル・グループなどの進出を見ても、パリの魅力の大きさがわかります。またプラザ・アテネle Plaza Athénée、リッツle Ritz、ホテル・クリヨンl'hôtel de Crillonといった古い歴史を持つ最高級ランクのホテルでは、改装工事が続けられています。そしてル・フェリシアンle Félicien、ル・シャヴァネルle Chavanel、ウジェーヌEugèneや123セバストポールle 123 Sébastopol、さらに今後建設予定のインドシナムIndochine、ブレシアBresciaなどをとってみても、パリのホテルは革新的で驚くようなコンセプトを導入し、今までとはちがったパリでの滞在を提案しています。

食の分野でも、シェフたちは創造性を追求し、新店舗を開いて料理を提供しています。ひらめきに満ちた料理が楽しめる新しいお店としては、サン・ラザール駅にオープンしたエリック・フレションEric Frechon、証券取引所に店を構えたヤニック・アレノYannick Alléno、そしてジャン＝フランソワ・ピエージュJean-François Piègeのレストランがおススメです。「ピストロノミーbistronomie」は、ピストロの精神と美食の絶妙なコラボで、こちらも人気上昇中です。スヴェン・シャルティエSven Chartier のサチュルヌSaturne、カミーユ・フルモンCamille Fourmontのラ・ビュヴェットla Buvette、北口英範のH Kitchenなど、才能豊かな若いシェフがこのブームを支えています。彼らはみな、本物の味と地元でとれる素材のエキスパートなのです。2014年に注目される有名シェフの店としては、ギ・サヴォワGuy Savoyが腕を振るう造幣局Hôtel de la monnaieのレストランなどがあります。そのほか、注目が集まるストリート・フード(グリエGrillé、フレンチ・ツー・ゴーFrenchie to goなど)や1つの食品をテーマにした、また小規模農家から取り寄せた食材を取り扱ったレストランなど、美味しいスポットがいっぱいです！





パリは今までも、そしてこれからもファッション、高級品、美容健康とショッピングの中心地です！ 冬と夏に行われるバーゲンは、業界の一大イベント。また一年を通じて、店舗の開店や臨機応変なイベントで、つねに新しいものを求めるお客さまを引きつけています。また、モンマルトルMontmartre、マレMarais、シャンゼリゼChamps-Élyséesといった7カ所の観光地では日曜日でもショッピングが楽しめるようになっています。そして世界的に有名な高級ブランドは、みなパリを愛しています。バレンシアガBalenciaga、ザディグZadig、ヴォルテールVoltaire、イザベル・マランIsabel Marant、ティファニーTiffany & coなど、高級ブランドはデザイン性が高く大胆な趣向を凝らし、サービスの質を競い合っています。パリのどの地区にもぎやかでバラエティーに富んだお店が並んでいるので、クリエイターファンからヴィンテージファッションファンまで、さまざまな魅力を発信します。ボーグルネルBeaugrenelle、アエロヴィルAérovilleといった新しいショッピングセンターは多くの人々にぎわい、アウトレットセンターも、ワン・ネーション・パリOne Nation Parisに続いて新店舗がオープン、常に新しい商品を提供し続けています。

夜、パリはさらににぎやかでアットホームな雰囲気になります。パリのスタイルは、さまざまなジャンルや時代をとりまぜる、というもので、この街ならどんな要望にも応えられるのです。リニューアルしたランス・ド・ゴールPrince de Galles、最近ではファウストFaustやセーヌ河岸のワンダーラストWanderlustも注目です。

クリエイティブ・ツーリズムでパリが生まれ変わる

パリの美術館・博物館、歴史的建造物 は常に入場者数が増加しており、毎年7000万人以上が訪れています。企画展も人気で、1000万人もしくはそれ以上の入場者を記録しています。

クリエイティブ・ツーリズムtourisme créatifという参加型、持続型の観光でまた、パリはワンステップ上へ進みました。インターネットのサイトcreativeparis.infoでは、クリエイティブ・ツーリズムがオファーされています。旅行者はここからきわめてバラエティーに富んだプログラムの情報を得ることができます。そしてアート、ファッション、庭園、料理などの分野から好きなものを選べばよいのです。アーティストとの交流、アートやスポーツ、クリエイションの体験も予定されていますよ。

エコレスポンスブルを大切にする街パリ

460もの公園や庭園、開設100年を迎えながらきわめて便利で使いやすい16路線の地下鉄など、パリにはエコロジーのあらゆる切り札がそろっています。バスレーンが整備され、交通はスムーズになりました。またパリ南部で導入したパリのトラムウェイtourisme parisienは好評で、路線がますます拡大されています。もちろん、誰でも自由に使えるレンタサイクルサービスのヴェリブVélib'と自動車のカーシェアリングシステム、オートリブAutolib'もそのネットワークを広げています。さらにセーヌ河岸の道路とレピュブリック広場も拡張工事を終了し、よりエコロジーでダイナミックな姿へと変身。パリジャンや観光客にとって、まさにパリは新しいライフスタイルを発信する街、となっているのです。

ホテル業界も環境保護に力を入れています。ラ・クレ・ヴェルトLa Clef VerteやエコラベルÉcolabel、グリーングローブGreen Globeといったエコロジーのラベル認証を受けたパリのホテルがますます増えています。



変化する街パリ

パリは毎日少しずつ、境界線を外に広げています。まずバーチャルな面では、パリには公園・庭園、カフェ、文化施設などにWi-fiのネットワークがあり、世界中とつながることができます。地理的な面でいうと、パリは隣接する地域を開発し近隣コミュニティとのつながりを深めています。パリ北東部は、18区と19区をサン・ドニSaint-Denis とオベルヴィリエ Aubervilliersの方へ広げ、パリ東部は、新しい境界線をリラ門La porte des Lilasよりも外に描こうとしています。パリでは野心的な都市計画や建築も見どころで、目下変身中のレ・アル地区のカノペune canopéeや、2014年完成予定の8000㎡を誇るネルソン・マンデラ公園jardin Nelson Mandela、ボーグルネルBeaugrenelle地区のセヌ川沿いの新しい街並みや新しい高層建築(トライアングル・タワーTour Triangleや新裁判所nouveau Palais de Justiceなど)が建てられています。こうしてパリは、未来の世界を作る都市としての地位を確固としたものになっているのです。

文化関連にも負けてはいません。2014-2015年には多くの野心的なプロジェクトが完成予定です。例えばラ・ヴィレット公園parc de la Villette内にできるジャン・ヌーヴェルJean Nouvel設計のパリ管弦楽団la Philharmonie de Parisのシンフォニーホールなどがあります。いっぽうスガン 島l'île Seguinの再開発開始と、ヴァレ・ドウ・ラ・キュルチュール Vallée de la culture計画(2017年初め完成予定)も動き出しました。こうした数々の大プロジェクトによってパリでは、すでに目につき始めた変化や進化をしっかりと追いかける、野心に満ちた未来の姿が見えるようです。

連絡先

+33 (0) 1 49 52 53 27 – press@parisinfo.com
より詳しい情報は: <http://press.parisinfo.com>
フォトライブラリー: <http://pro.photos.parisinfo.com/en/>

Photos: PCVB / Marc Bertrand, Amélie Dupont, Jocelyne Genri, Stéphanie Rivoal, Daniel Thierry, Eugène en ville, Aéroville, Fondation Louis Vuitton : Louis-Marie Dauzat, Autolib', Musée Marmottan, Jardins flottants : Maxime Dufour, Lazare, Parc zoologique de Paris : F-G. Grandin - MNHN.
Mairie de Paris / Henri Garat - Cai Guo Qiang.

データで見るパリ

> パリの観光に関するデータ

- 2900万人: 2013年に世界中から訪れた観光客の数
- 2つの飛行場: ヨーロッパ屈指のハブ空港。6つの駅は外国の都市とつながっている
- 2時間15分: パリ-ロンドン間
- m 6時間25分: パリ-バルセロナ間
- 23 500台: 自由に使えるレンタサイクルサービス「ヴェリブ」の台数
- 80 000室以上: ホテルの客室数
- 297 :メトロの駅の数 13分: パリを横断するのにかかる時間





> パリを選ぶにはこんな理由も

- 魅力的な価格

サンドイッチ：5 € / クロワッサン：1 €
コーヒー：2 € / セットメニュー：15 €
メトロの切符：1,70 €
14の美術館・博物館が入场無料

- 豊かな文化遺産

37の橋
10 100トン：エッフェル塔に使われている鉄鋼の量
465の公園や庭園
2 000種の動物
6500年の歴史



- 充実した文化施設

144の美術館・博物館
120：チュイルリー公園の彫刻の数
36 000：ルーヴル美術館で展示されている作品の数
200の教会
1 360万人：ノートルダム寺院を訪れる人数



- ショッピング

17 500件のショップ、4つのデパート
ヨーロッパ域外からの観光客には12 %の免税
年に69日間バーゲンが行われている

- イベント

1日に300以上のイベントが開催されている
ヌイ・ブランシュでは130万人が街に出る
パリ・プラーージュでは1 500トンの砂が使われる



- 多種多様な娯楽

パリのオペラ座では450もの上演が行われる
10 000 軒のバー、レストラン
毎日500本の映画が上映されている
毎日100のクルージングが出航する

- アート、ファッション

25 000人のアーティストがパリで活躍している
2012年には988ヶ所で映画が撮影された
モードの発表期間中には、100ヶ国から15 000人のクリエイターや製作者
が集まる。



- ビジネスの会合

2012年には625 770人がパリの会議に参加
2012年には1 000以上の会議が行われた
15の会議場、展示場
展示スペースは600 000 m²以上

パリ観光・会議局

世界最大の観光都市であるパリは、古い文化遺産だけでなく、流行の最先端をとりいれるスタイルゆえに、多くの人々を惹きつけます。パリ観光・会議局は、パリ観光に役立つ情報をご提供いたします。

> データ



- 3つの主要な任務: 観光客を迎えること、情報を与えること、観光の促進。
- 600 000人以上が2013年に通年営業の観光局に会場。
- パリ観光・会議局の本部は、パリの中心部、ルーヴル美術館とオペラ座の間にあります。建物は有名な建築家Christian Biecherの設計です。
住所: 25, rue des Pyramides, Paris 1er
- パリ市内5つの出張所でも観光客を迎えています。
リヨン駅、北駅、アンヴェール駅、ポルト・ドゥ・ヴェルサイユ見本市会場、東駅。
- 2013年には1500万近いアクセスがインターネット・サイト parisinfo.com にありました。
4つの主要サイトは、フランス語、英語、スペイン語、ドイツ語。
8のミニサイトは、イタリア語、ポルトガル語、オランダ語、ロシア語、中国語、日本

語、簡体中国語、ハングル語。

- 500 000 部近い各種無料ガイドブックの発行。英語版とフランス語版。
- パリの街歩きガイドーParis est à vous !、グルメガイド Paris Gourmand、ショッピングガイド Paris Shopping Book、パンフレットーParis se visite。

> 旅行者、プレス向けツール

- フランス語、英語、スペイン語、ドイツ語によるフォトライブラリー
パリの多様な魅力を伝える3 500枚の高画質写真をそろえております。メディアの記事やパンフレットにご利用下さい。
- 数カ国語で書かれたプレスリリース
- インフォメーション資料「パリ2014」:
フランス語、英語による資料4種「芸術と文化 Arts et culture。
多国語による資料5種「ライフスタイル Art de vivre。
「シーズンごとのパリ情報Paris en toutes saisons 3 種。フランス語、英語。
フランス語・英語による補足資料« Sur mesure » 6種。
- フランス語・英語によるマンスリー・ニュースレター
「新規オープン情報」、「トレンド」、「ズームアップ」、「わたしが見たパリ」の4項目から構成。
- パリのポスター6種類(60×80cm)

